

クロイツフェルト・ヤコブ病二次感染のリスクに対する今後の主な対応

1. 関係団体への通知

日本医師会、脳神経外科学会などの関係団体、自治体等へ通知を発出し、適切な消毒方法について、より一層の周知・徹底を図る。

2. 事例が発生した医療機関への当面の対応について（参考資料2）

3. 二次感染対策について意見の取りまとめ

「CJD 二次感染予防に関する対策検討会」（座長：水澤英洋）において、二次感染対策について意見のとりまとめを行う。

4. 感染予防ガイドラインの見直し

難治性疾患克服研究事業「プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班」（班長：水澤英洋）において、CJD 二次感染予防に関する対策検討会の議論を踏まえ、二次感染への対応を含めたガイドラインの見直しを行う。